

土木事業委託積算基準 の **改定**・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）8月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	改定	現行	備考																
設計編 〔4〕河川構造物設計 1. 護岸設計 1-2 護岸詳細設計 1-2-2 作業区分	設河構-11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量計算</td> <td>詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。</td> </tr> <tr> <td><u>概算工事費</u></td> <td><u>詳細設計として作成した設計図及び数量等に基づき概算工事費を算出する。</u></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	業務内容	数量計算	詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。	<u>概算工事費</u>	<u>詳細設計として作成した設計図及び数量等に基づき概算工事費を算出する。</u>	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量計算</td> <td>詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	業務内容	数量計算	詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。	項目の追加
名称	業務内容																			
数量計算	詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。																			
<u>概算工事費</u>	<u>詳細設計として作成した設計図及び数量等に基づき概算工事費を算出する。</u>																			
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。																			
名称	業務内容																			
数量計算	詳細設計として作成した設計図に基づき設計図書又は、数量算出要領により、工程別、区間別に数量を算出する。																			
.....																			
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。 ②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。 ④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。																			
設計編 〔4〕河川構造物設計 1. 護岸設計 1-2 護岸詳細設計 1-2-3 フローチャート	設河構-12	<pre> graph TD A[1.1. 数量計算 1) 本体土工数量 2) 本体材料数量 3) 仮設数量] --> B[1.2. 概算工事費] B --> C[1.3. 照査] C --> D[1.4. 報告書作成] D --> E[納品] </pre>	<pre> graph TD A[1.1. 数量計算 1) 本体土工数量 2) 本体材料数量 3) 仮設数量] --> B[1.2. 照査] B --> C[1.3. 報告書作成] C --> D[納品] </pre>	作業の追加																

土木事業委託積算基準の **改定**・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）8月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	改定	現行	備考																																														
設計編 [4] 河川構造物設計 1. 護岸設計 1-2 護岸詳細設計 1-2-5 標準歩掛	設河構-15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 施工単価コード DXC40210 </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">(1業務当り)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概 算 工 事 費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>5.4</td> <td>9.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; color: red;">(注) 1. 見積必要品目がある場合は、実施時点での見積徴収作業を含む。 2. 1-2-6. 歩掛の補正は適用しない。</p>	職 種	直 接 人 件 費							主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	概 算 工 事 費				1.4	5.4	9.3		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 施工単価コード DXC40210 </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">(1業務当り)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概 算 工 事 費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>5.4</td> <td>9.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職 種	直 接 人 件 費							主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	概 算 工 事 費				1.4	5.4	9.3		新規歩掛の追加
職 種	直 接 人 件 費																																																	
	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																											
概 算 工 事 費				1.4	5.4	9.3																																												
職 種	直 接 人 件 費																																																	
	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																											
概 算 工 事 費				1.4	5.4	9.3																																												
設計編 [4] 河川構造物設計 1. 護岸設計 1-2 護岸詳細設計 1-2-6 歩掛の補正	設河構-15	<p>1-2-6 歩掛の補正 (ただし、概算工事費には適用しない)。</p> <p>設計条件が標準歩掛と異なる場合には、標準歩掛に以下の補正係数を乗じて歩掛の補正を行うものとする。</p> $S = A \times (K1 \times K2 \times K3 \times K4)$ <p>S : 補正後の歩掛 A : 護岸の標準歩掛 Kn : 各項目の補正係数</p>	<p>1-2-6 歩掛の補正</p> <p>設計条件が標準歩掛と異なる場合には、標準歩掛に以下の補正係数を乗じて歩掛の補正を行うものとする。</p> $S = A \times (K1 \times K2 \times K3 \times K4)$ <p>S : 補正後の歩掛 A : 護岸の標準歩掛 Kn : 各項目の補正係数</p>	記述の追加																																														